

池田山麓自然と歴史にふれあうみち

揖斐川町ふれあいバス「新丁」バス停
名阪近鉄「昼飯」バス停

約5時間40分

13.1 km (標高差100m)

(難易度 ★★☆☆☆)

揖斐川町・池田町・大垣市

トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ● 蘇生の泉 ● 大津谷公園 ● 小寺展望台 ● 霞間ヶ溪 ● 道の駅「池田温泉」
駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ● 霞間ヶ溪 ● 道の駅「池田温泉」

みちの特徴

すべて舗装路で、最高標高差約100mと高低差の少ないコースである。霞間ヶ溪から大津谷の景観は池田町と茶畑を一望できる。トイレ・駐車場も各所にあるのでウォーキング初心者にもお薦めのコース。霞間ヶ溪は桜の名所として有名。



約80分
緩やかな登りの道。

二条関白 蘇生の家

約25分

「新丁」バス停

スタート

約65分
茶畑に囲まれ、青々としたさわやかな眺めを楽しめる。

大津谷公園

約110分
道の駅「池田温泉」

野外活動センター

約40分
緩やかな下り。

円興寺

昼飯大塚古墳

約20分
名阪近鉄バス「昼飯(ひるい)」バス停

ゴール

みどころ

【霞間ヶ溪(かまがたに)】
霞間ヶ溪の桜は国の名勝天然記念物に指定され、遠くから見ると霞がかかったように見えることからこの名前がつけられた。



【円興寺】
最澄(伝教大師)が七堂伽藍を建立し創建。織田信長に焼かれ、その後再建されたと伝わる寺院の境内で見られる樹齢300年をこえる大クスノキは、大垣市の特別保護樹に指定されている。

【昼飯大塚古墳】
国指定史跡。4世紀末(約1600年前)に築かれた岐阜県最大の前方後円墳。